

【技術の名称】 ベースアンカースタッド (BAS) 工法 —スタッド溶接方式による建方用仮設鉄骨柱脚工 法—	性能証明番号：GBRC 性能証明 第04-05号 性能証明発効日：2004年5月11日 【取得者】 日本スタッドウェルディング株式会社
------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、ネジスタッド、プレート、アンカー筋の3部品をアークスタッド溶接で接合した「ベースアンカー」を従来のアンカーボルトの代わりに用いて鉄骨柱脚を構成する技術である。アンカー筋を工場溶接したプレートを所定位置に据え付け、基礎コンクリート打設後にプレート上面の鉄骨柱脚詳細から決まる位置にベースプレート緊結用のネジスタッドを溶接する。プレートを挟んで上部のネジスタッドと下部のアンカー筋に偏心が生じても、偏心距離が許容値以下であればネジスタッド自体の許容耐力を確保できる。

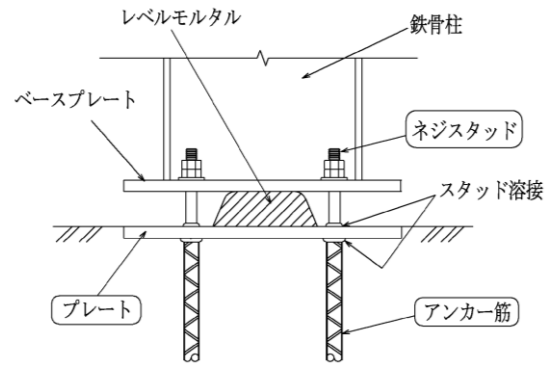
【技術開発の趣旨】

従来、アンカーボルトを基礎コンクリートに定着し、アンカーボルトにベースプレートを緊結する鉄骨柱脚では、コンクリート打設時の不具合でアンカーボルトが正規の位置からずれた場合、その補正に多大な困難を伴う場合が多い。不適切な手直し工事は注脚の構造性能を大きく低下させる原因にもなる。そのような問題を解消するために、ボルト位置のずれによる過度な耐力低下の回避、さらには上部鉄骨の建方精度の向上と作業の迅速化を意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

ベースアンカースタッド工法標準設計・施工要領書に定める構成部品を組み合わせ、アンカー筋とネジスタッドの偏心距離が同要領書に定める許容値以下の場合、ベースアンカーを構成するネジスタッドの短期許容引張耐力及び短期許容せん断耐力は、ネジスタッド自体の許容耐力に等しいと判断される。



ベースアンカー概要図



スタッド溶接施工状況



ベースアンカー施工完了

【本技術の問合せ先】

日本スタッドウェルディング株式会社 担当者：尾籠 秀樹 E-mail：ogomori@nsw-j.com
〒529-1422 滋賀県東近江市五個荘小幡町 474 TEL：0748-48-4600 FAX：0748-48-5070